

# For the future of Ibaraki children

合同研修 新任校長・新任教頭・  
新任教務主任 | 6月25日(火)●参加者数 498名

## 演題

凡時徹底  
平凡なことを非凡に努める、



●講師  
**鍵山秀三郎氏**【昭和8年 東京生まれ】

昭和36年に自転車1台から行商をスタートし、現在の株式会社「イエローハット」を築き上げた。誰にでもできる簡単なことを徹底して実践する「凡事徹底」を信条とし、創業以来続けた「掃除」に多くの人々が共鳴し、創唱した「日本を美しくする会」の活動は国内ではもちろんのこと、アメリカのニューヨーク、中国、台湾やブラジルなど、海外にも広がっている。

## 受講者の感想より

トイレ掃除を徹底して行うことで荒廃した全国の中学校を再生してきた一連の取組は、小さな凡事でも積み重ねれば生徒の心を変え、学校を変える大きな力になることを示してくれていると思う。  
(県立特別支援学校 校長)

「世の中にはだれの仕事かわからない仕事の方が多い。それを『わたしの仕事』ととらえる人が多いほどその組織はすばらしい。」氏の言葉を聞いて、学校の日常はまさにそれだと思いました。  
(かすみがうら市内中学校 教務主任)

グループ別研修 新任教頭 | 8月22日(木)●参加者数 184名

## 演題

徳性を養い、  
徳性を育てる



●講師  
**池田繁美氏**【昭和23年 福岡市生まれ】

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉を主宰。また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、など全国各地で講演活動を行っている。

## 受講者の感想より

「経営者(校長)は、生徒ではなくて、まず第一に社員(教職員)を満足させなければならない、という徳治経営の考え方には目から鱗が落ちる思いであった。  
(県立高等学校 教頭)

「教師自身が徳を身に付け、それを子どもに伝える」という氏の言葉が心に残りました。それは日常生活の様々な出来事の中で、子どもたちの自己中心的な行動が気になり、注意をくどくと繰り返していた自分の姿を反省しました。  
(つくば市内中学校 教頭)

グループ別研修 新任校長 | 8月19日(月)●参加者数 128名

## 演題

何を学び、  
何を教える



●講師  
**上甲晃氏**【昭和16年 大阪市生まれ】

松下政経塾で初代塾頭を務めた経験をもつ。「志の高い日本」は「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の啓発にあたっている。

## 受講者の感想より

松下電器を退職してまで日本の未来のために「青年塾」を開塾し、今に至るお話の中で、実例を織り込んで、たくさん大切な言葉をいただいた。私も教育の原点である生徒一人一人の人の力を高めるために、まず自分自身の人の力を高めていかたい。  
(県立高等学校 校長)

上甲先生の言葉はどれも胸に響きました。その中でも「人のよさに気づける、人のよさを見つけることが、人を教える者の条件である。」という言葉が心に残りました。今までの自分を振り返ってみると、何と欠点ばかりに目がいっていたのかと反省させられました。  
(桜川市内中学校 校長)

グループ別研修 新任教務主任 | 8月26日(月)●参加者数 209名

## 演題

魂を揺さぶる本気教育  
感動は人を動かす



●講師  
**木下晴弘氏**【昭和40年 大阪府生まれ】

著書『全国高校入試問題正解と分析 解答』(学研)、『できる子にする「賢母の力」』(PHP研究所)、『涙の数だけ大きくなる』(フォレスト出版)他多数。「感動が人を動かす」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は、生徒、保護者だけでなく、企業関係者からも絶大な支持を受けている。

## 受講者の感想より

我々教員の仕事は知識を教えるだけでなく、生徒の生き方そのものに深く関わる大切な仕事だと改めて考えさせられました。大変勉強になる有意義な講演でした。  
(県立高等学校 教務主任)

2学期は間近ですが、この講演で本当に力強い応援をいただきました。「成功の反対は失敗ではない。何も行動しないことだ。」の言葉を心に刻んで、課題に対し、自ら挑戦し続ける勇気をもとうと思います。  
(桜川市内中学校 教務主任)

木下先生の講演を聴いて、自分はなぜ教員になったのか、自分にできることはどんなことなのか、を改めて考える機会を与えていただいたことに、心から感謝します。  
(桜川市内中学校 教務主任)